
■ 平成 25 年度 第 2 回「学芸大学駅周辺地区懇談会」 議事概要 ■

日 時：平成 26 年 3 月 7 日（金） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 30 分

場 所：目黒区鷹番住区センター 第 3・4 会議室

出席者：メンバー：10 名

目黒区：都市整備課：中澤課長、井出係長

道路工事課：清水係長、伊藤氏

コンサルタント：益永、小林、河井

1 報告事項、資料等の説明

- 1) 交通安全対策の整備工事について
- 2) 整備工事にあわせた「商店街の街づくり」の取り組みについて
- 3) 碑文谷公園前交差点などの地区内の交通安全対策について
- 4) その他

2 意見要旨

1) 交通安全対策の整備工事について

- ・特に意見なし。

2) 整備工事にあわせた「商店街の街づくり」の取り組みについて

○商店街の看板、商品等のはみ出しについて

- ・ 看板、商品のはみ出しについては少しずつ良くなっていると思う。ルールを守らない店は決まっているため、商店街と店の関係が悪くならないように改善していく必要がある。
- ・ 看板、商品についての改善は見られるが、のぼりのはみ出しが目立っていた。側溝より内側に置かれていても、斜めに置かれているため、道路にのぼり旗がはみ出ししており、人が通れなくなってしまう、危険である。
- ・ まち歩きをした際に、自転車の話題が挙がったが、資料に出てきていない。今回のまち歩きの対象は看板と商品であったが、自転車についての記載がなく、問題がないように見えてしまう。最近は駅構内で自転車に乗ったまま通過している人がいる。
→今回のまち歩きは看板と商品が対象であったため、看板と商品について中心に記載しているが、自転車についての実態は把握しており、街づくりニュースにも少しではあるが記載している。駅構内の自転車利用などについても認識はしており、取り組みを行いたいという話も出ている。

○街づくりの活動について

- ・ 歩行者喫煙についての話が出ている。交通安全について考えるのか駅周辺の街づくりについて考えるのかによって、歩行者喫煙などの環境についても話し合う必要がある。歩行者喫煙以外にも、防犯や交通安全などについての活動をしている。街づくりはそれぞれ単独の話ではないため、様々なことを含めて考え、全体として整理する必要がある。
→街づくりは様々なことをやらなくてはいけないということは理解できるが、懇談会では整備計画を基本として進めていきたいと考えているため、道路整備を重点的に取り上げて話し合っている。
- ・ 基盤が少しずつ整備されて、ソフト面の話になってきている。今まではハード面の街

づくりを行われてきたので、これからはソフト面で学大のまちづくりを考えてほしい。そのためにも、分野ごとにバラバラの会で話し合っていることを同じ場で話し合いをやってほしい。

- 街づくりは様々な分野が関連することであるから、一緒にやるべきという意見はその通りであると思うが、喫煙に関してはポイ捨てから喫煙問題を取り上げており、積み重ねがある。整備計画に基づいてハード面の整備から入り、それに伴いソフト面の対策をやっている。今まで出た意見経過などもあるため、各会で話し合ってもらった方が良いのではないか。
- 懇談会は街づくりの会議として、いろいろなことを話せる場にするのが良いのではないか。縦割りで別々にやってしまうとまとまらなくなってしまう。この会議中心に街づくりについて考え、それぞれの部会があるような形にしてほしい。
→庁内の中で連携はしている。合同できるか検討はしたい。
- 喫煙の話し合いでは、環境清掃部が担当であり、道路に関する質問に答えることができないため、都市整備課が出てくることで、話が発展すると思う。
- 喫煙は喫煙で分けるべきだと思う。ただ、学大の街づくりとして方向性が違ってこないようにしなければならない。
- 商店街の一利用者として商店街でわくわくしたいと思って、参加している。具体的な取り組みの内容などはあまりわからないが、整備計画に基づく整備のためハード面が中心であると思うが、商店街のパトロールや警察への要望などの取り組み以外に、こういう商店街にしたいなど街づくりの理念や思いが解決につながると思うのだが、どのように考えているのか聞きたい。
- パトロールや警察の要望については、個人で注意しても改善されないため、警察に協力してもらおうという話であり、商店街として理念がないわけではない。
→補足として情報提供すると、学大商店街のルールを商店街で作っており、街の人に愛されるような、商店街として、顔が見える商店街、会話のできる商店街にしたいという思いがあり、街づくりを考えている。その中で、看板などの話題が出ている。
→取り組みについて情報発信をし、共有化をしていく取り組みが必要かもしれない。また、計画の点検作業をすることで、次に繋げていくことが必要かもしれない。
- 障害者などを対象としたワークショップなどを再度行ってほしいと思う。

3) 碑文谷公園前交差点などの地区内の交通安全対策について

○碑文谷公園前交差点の交通安全対策について

- 交差点は良くなったと思う。いまだにルールを無視する人はいるが、無視する距離が減ったため、事故は減ると思う。
- 地蔵前の歩道部分は整備前と変わっていないので、悪化しているわけではないが、幅員が狭く、自転車が通ってしまうと歩行者が通れないのが少し気になる。
- 碑文谷公園の前の歩道部分は大きなスペースがあるため、悪いことをされないように注意する必要がある。
- 評価できる整備であり、空間としてよいと思う。歩道部分にスペースがあるため、公園の緑をはみ出す形やシンボリックな街路樹が1本あると良い。道路と公園が一体的な空間として改良してほしい。

○ゾーン30について

- 今までゾーン30についての話は出てきていたか。いきなり話が出てきても戸惑ってしまう。ゾーン30については良いと思うが、周知が足りないので、うまく宣伝してほしい。
→今までの懇談会において、ゾーン30について取り入れると良いという話が出ていた。前回の懇談会においても、警察が検討しているため、情報があれば提供するという話はしている。どこをゾーン30にするのか決めるのは警察であるが、学芸大学駅周辺

地区整備事業との関係が深いので、情報提供という形で載せている。宣伝については、住民に周知していきたいと思う。

- ・ 歩行者優先ゾーンとゾーン30の関係がおかしいのではないかと。西口だけゾーン30となっており、差別化するのはおかしい。今までの議論の意味が無くなってしまう。学大地区はすべてゾーン30にするべきである。
→ゾーン30については警察が決めたことであり、順次行っていくということは聞いているので、次は東口だと思っている。
- ・ 警察に意見は言っていく必要がある。
→要望を警察に伝える。
- ・ 町会すべてがゾーン30になっているが、まったく話を聞いていない。説明は警察と区、どちらに要望すればよいのか。
→警察が担当しているため、警察に要望するのが良いと思う。区から警察に話をすることは可能である。

4) その他

○参加者について

- ・ 商店街が東口の人しか参加していない。
→詳しいことはわからないが、他の用事があったためだと思う。

○補助26号について

- ・ 補助26号がもうすぐ整備されそうだが、学大周辺は住宅地でもあるため、通過交通などの問題が出てくると思う。駒沢通りとの交差点処理についての説明はあるが、目黒通りの交差点の処理についてどうするのかつめられていない。
→補助26号は少しずつ進んできている。来年度あたりに話し合いをする場を設けられれば良いと思う。

○鷹番小学校の安全対策について

- ・ 鷹番小学校付近にスクールゾーンがあり、朝、車は入ってはいけなくなっている。現在はボランティアの人がバリケードを置いているが、3月にやめてしまうため、やる人がいなくなってしまうので、対策を考えてほしい。
- ・ 時間帯規制の表示はあるが、裏道になっているため、ルールを守らない人がいる。
- ・ やめてしまう人は、高齢であり、体力的にきついということでやめることになった。現在PTAを含めて対策を検討している。職員で行うことも1つの方法ではあるが、それだけでなく、地域としてやっていきたいという考えがある。また、人数や契約の関係上、職員だけでやるのは難しい。

○碑文谷公園の間の道について

- ・ 碑文谷公園の間の道は、何人もの保育園児を先生が2人くらいで見ながら通ったり、盆踊りの時は大勢の人が利用するため、危険である。車のスピードを強制的に落とすハンプの整備は出来ないか。
→自動車のスピードを減速させる対策として検討したが、物理的に凹凸をつくることで騒音など、別の弊害が出てくるため、イメージ狭さくの整備をしている。道路管理も大変になってしまう。

○舗装について

- ・ 建築や下水道などの工事を行った際に、舗装を直した時の質が悪い。チェックや指導をしっかりとやって、元に戻るようにしてほしい。
→現況復帰が原則である。具体的な場所を教えてもらえれば、指導する。

○歩行喫煙について

- ・ 歩行喫煙についての問題点として、受動喫煙がある。受動喫煙しないための対策が必要である。現在、歩行者の多い場所に喫煙所があることも問題である。喫煙所の場所

を考える必要がある。

→先日、喫煙に関する会が開催され、西口のほかに東口に喫煙所を作りたいという話があった。

○学大街づくり通信について

- ・ 3月中にニュースとして地元に知らせていきたいと考えている。

以上